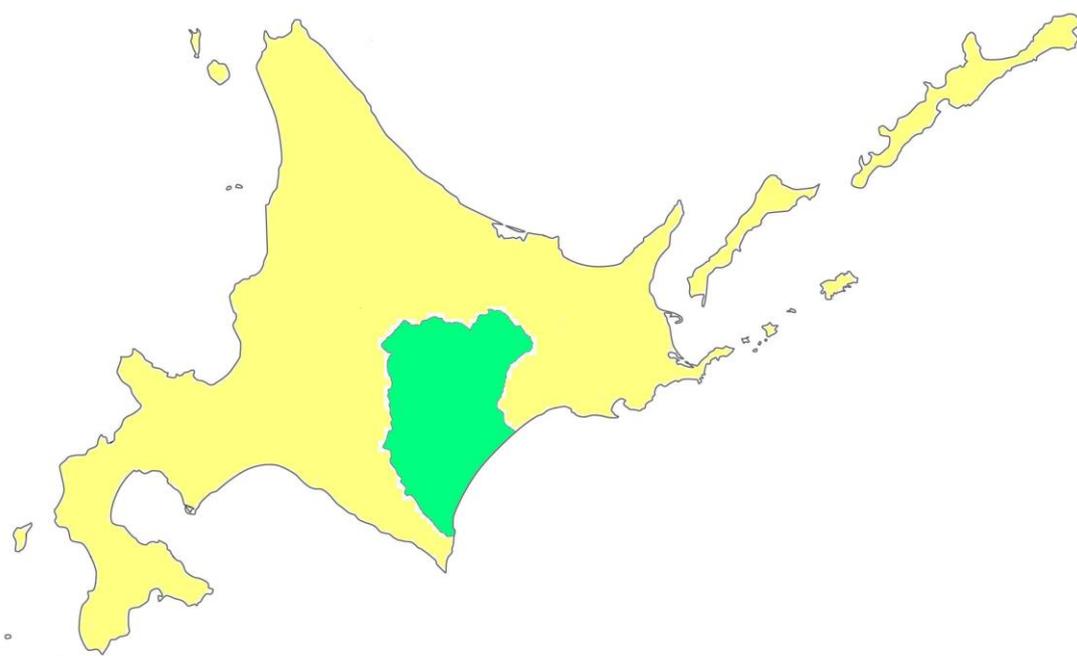


# とがち経済情報

令和6年5月発行

(令和6年1～3月)



財務省 北海道財務局  
帯広財務事務所



URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/obihiro/>  
希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

# 目 次

	ページ
十勝経済の北海道経済に占める位置 .....	1
主要経済指標（前年同月比等）の動向 .....	2
と  か  ち  経  済  の  概  況  .....	3
1. 生  乳  生  産  .....	4
2. 公  共  事  業  .....	5
3. 住  宅  建  設  .....	6
4. 個  人  消  費  .....	7
5. 雇  用  情  勢  .....	8
6. 観  光  .....	9
7. 金  融  .....	10
8. 企  業  倒  産  .....	11
企業・関係団体の生の声.....	12

## 【利用上の注意】

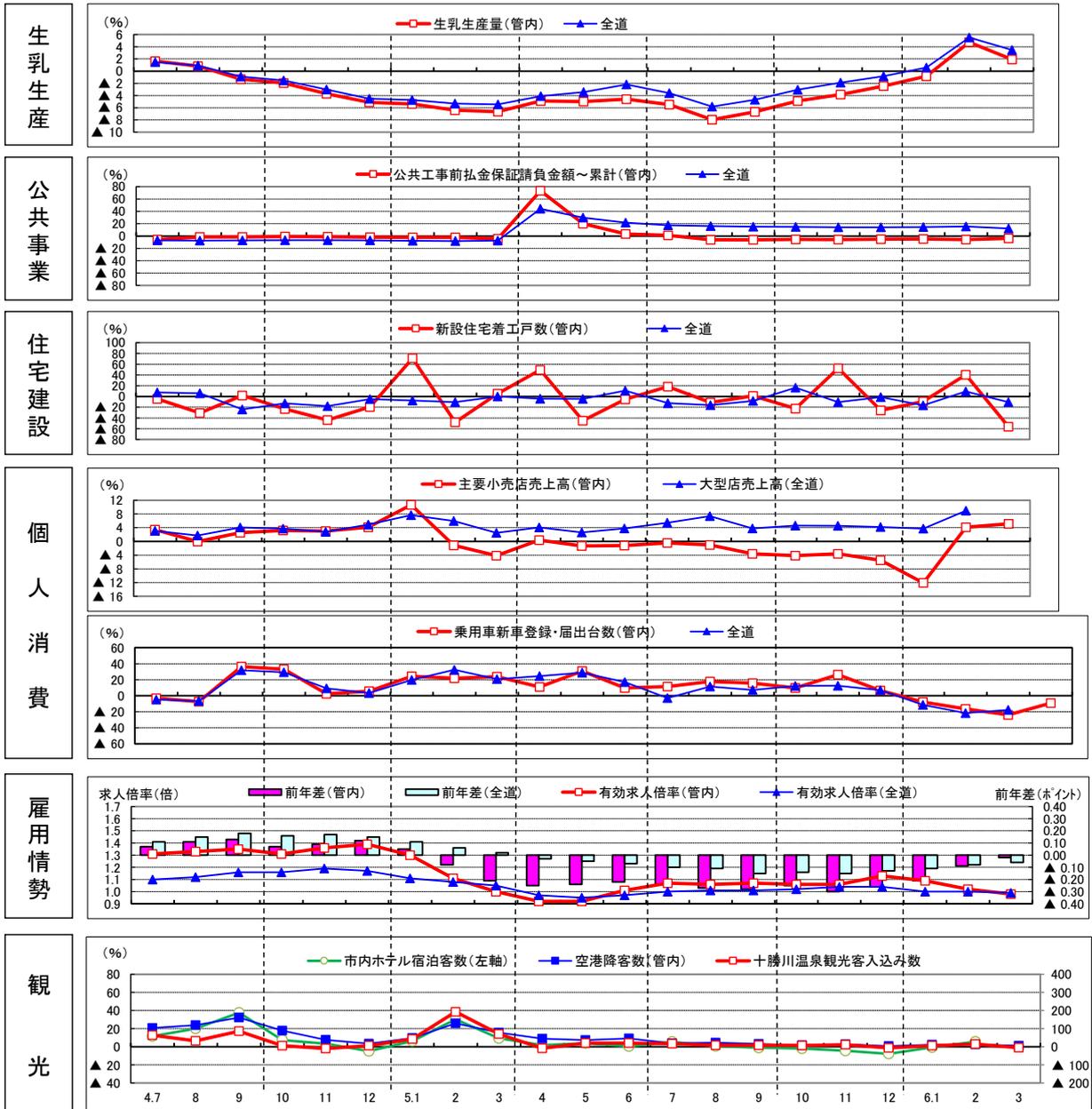
- ・数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- ・公表数値は、推計方法の変更等により、過去に遡って改訂される場合がある。
- ・符号の用法は次のとおりである。  
「0」～単位未満 「－」～該当数値なし 「p」～速報数値 「r」～改定数値

## 十勝経済の北海道経済に占める位置

区 分	単位	十勝管内	全 道	全道比	摘 要	
1. 面積・人口						
・ 面 積	km <sup>2</sup>	<u>10,832</u>	<u>83,422</u>	13.0%	国土地理院(6.1.1)	
・ 人 口	人	<u>323,062</u>	<u>5,065,106</u>	6.4%	住民基本台帳(6.3末)	
・ 人 口 密 度	人/km <sup>2</sup>	<u>29.8</u>	<u>60.7</u>	—		
2. 経 済 構 造						
・ 就 業 者 数	人	159,851	2,347,270	6.8%	} 国勢調査(令和2年)	
第一次産業	人	22,932	156,298	14.7%		
第二次産業	人	26,455	387,947	6.8%		
第三次産業	人	104,628	1,738,586	6.0%		
・ 事 業 所 数	事業所	15,741	216,124	7.3%	経済センサスー活動調査確報(令和3年)	
3. 農 業						
・ 農家(販売農家)戸数	戸	4,830	32,232	15.0%	農林業センサス 農林業経営体調査(2020年確定値)	
・ 耕 地 面 積	ha	254,600	1,141,000	22.3%	北海道農林水産統計年報(令和4年)	
・ 一戸当り耕地面積	〃	52.7	35.4	—	} 十勝畜産統計(令和5年)	
・ 乳用牛飼育戸数	戸	<u>1,110</u>	<u>5,380</u>	<u>20.6%</u>		
・ 乳用牛飼育頭数	頭	<u>244,287</u>	<u>842,700</u>	<u>29.0%</u>		
・ 一戸当り乳用牛頭数	〃	<u>220</u>	<u>157</u>	—		
・ 肉用牛飼育戸数	戸	<u>578</u>	<u>2,180</u>	<u>26.5%</u>		
・ 肉用牛飼育頭数	頭	<u>230,395</u>	<u>566,400</u>	<u>40.7%</u>		
・ 一戸当り肉用牛頭数	〃	<u>399</u>	<u>260</u>	—		
・ 生 乳 生 産 量	百トン	<u>12,599</u>	<u>41,788</u>	<u>30.1%</u>		農林水産省・十勝総合振興局(令和5年度集計)
・ 農 業 産 出 額	億円	3,494	12,919	27.0%		} 農林水産統計(令和4年) 十勝総合振興局(令和4年農協取扱高)
耕 種	〃	1,330	5,384	24.7%		
畜 産	〃	2,164	7,535	28.7%		
4. 林 業						
・ 森 林 面 積	ha	<u>689,137</u>	<u>5,537,208</u>	<u>12.4%</u>	北海道林業統計(5.4.1)	
・ 森 林 蓄 積 量	千m <sup>3</sup>	<u>124,597</u>	<u>862,633</u>	<u>14.4%</u>		
5. 漁 業						
・ 海面漁業漁獲量	百トン	921	11,509	8.0%	北海道水産現勢(令和4年:属地統計)	
・ 漁業生産額	億円	79	3,182	2.5%		
6. 工 業						
・ 製造事業所数	事業所	496	6,425	7.7%	経済構造実態調査 製造業事業所調査(2022年)	
・ 製造従業者数	人	12,902	165,004	7.8%		
・ 製造品出荷額等	億円	5,311	61,293	8.7%		
7. 金 融						
・ 預 金	億円	16,707	372,401	—	銀行、信用金庫、信用組合の計(5.3末)	
・ 貸 出 金	〃	8,620	160,596	—	銀行の全道分はゆうちょ銀行を含む	
8. 地 方 財 政						
・ 歳 入	億円	2,691	38,785	6.9%	市町村普通会計決算(令和4年度)	
・ 歳 出	〃	2,609	37,970	6.9%		

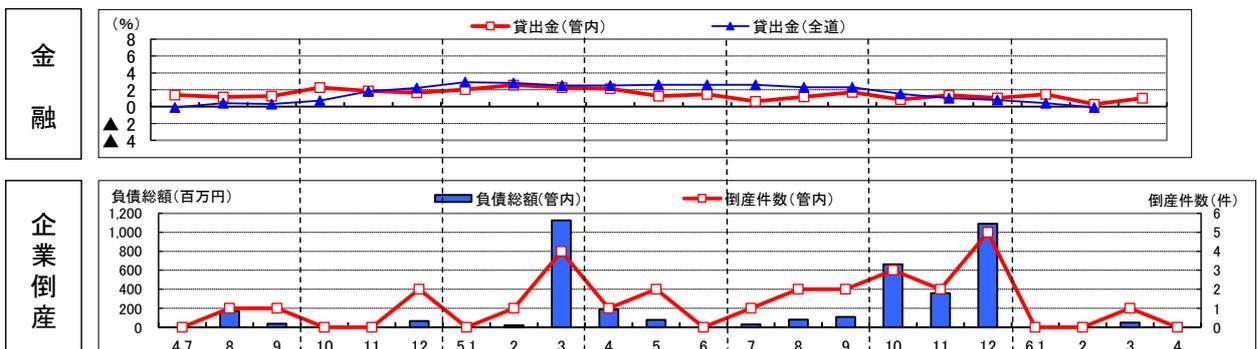
※下線は更新箇所

# 主要経済指標(前年同月比等)の動向



	4年7~9月期	4年10~12月期	5年1~3月期	5年4~6月期	5年7~9月期	5年10~12月期	6年1~3月期
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある
前回比較	→	↘	→	↗	→	→	→

## 【参考】



## 【 と か ち 経 済 の 概 況 】

**管内経済は、緩やかに持ち直しつつある。**

### 【総括判断】

公共事業、住宅建設は、前年を下回っており、雇用情勢は、有効求人倍率が前年を下回っている。  
一方で、生乳生産は、前年を上回っており、個人消費や観光は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

このように管内経済は、緩やかに持ち直しつつある。

### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

### 【総括判断の前回比較】

項 目	前 回 5年10月～12月	今 回 6年1月～3月	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	⇒

### 【各項目の判断】

項 目	前 回 5年10月～12月	今 回 6年1月～3月	前回比較
生乳生産	前年同期を下回る	前年同期を上回る	↗
公共事業	前年度累計を下回る	前年度累計を下回る	⇒
住宅建設	前年同期を下回る	前年同期を下回る	⇒
個人消費	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	⇒
雇用情勢	有効求人倍率は前年を大幅に 下回る	有効求人倍率は前年を下回る	↗
観 光	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒

### 【参 考】

金 融	貸出金残高は前年並み	貸出金残高は前年並み
企業倒産	前年同期を上回る	前年同期を下回る

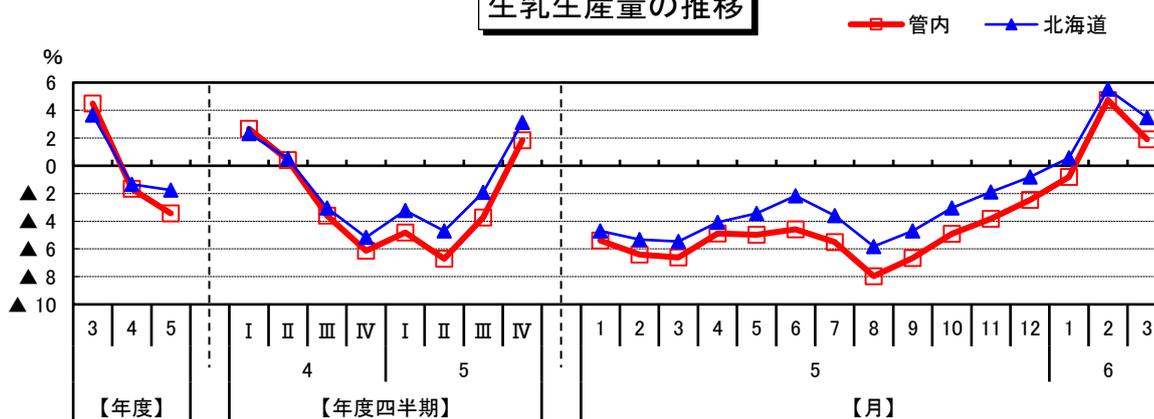
# 1. 生乳生産…前年同期を上回る

生乳生産量は、前年同期を上回っている。

生乳生産量 (単位:t、%)

年月	生産量	前年比
3年度	1,326,869	4.5
4年度	1,304,861	▲ 1.7
5年度	1,259,914	▲ 3.4
5. 1~3	311,248	▲ 6.1
4~6	326,044	▲ 4.8
7~9	311,038	▲ 6.7
10~12	305,831	▲ 3.7
6. 1~3	317,001	1.8
5. 10	102,756	▲ 4.9
11	99,295	▲ 3.8
12	103,780	▲ 2.5
6. 1	106,081	▲ 0.8
2	101,079	4.7
3	109,841	1.9

生乳生産量の推移



<資料：農林水産省、十勝総合振興局>

## 2. 公共事業…前年度累計を下回る

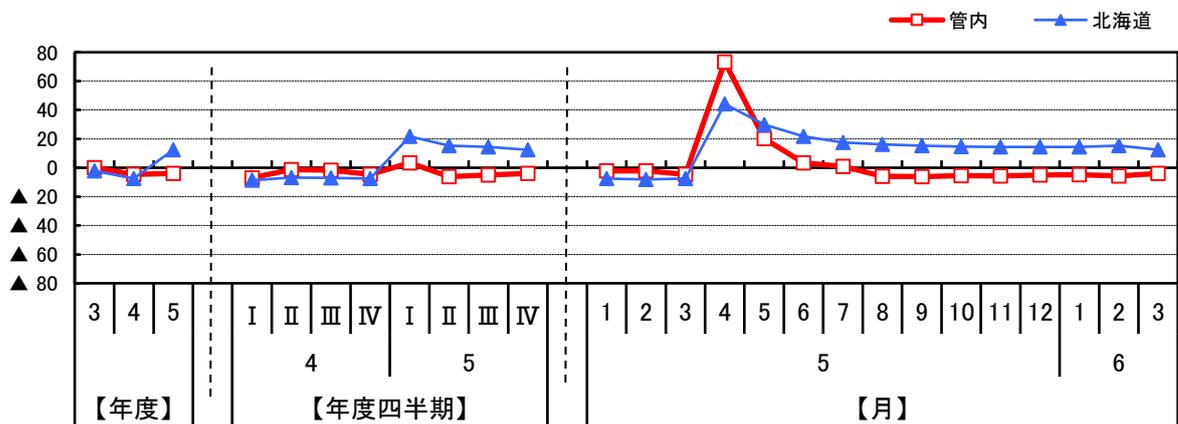
公共事業を前払金保証請負金額でみると、治山・治水、学校・病院等で減少したことから、前年度累計を下回っている。

前払金保証請負金額

(単位:百万円、%)

年月	月間	前年比	累計	前年比
3年度			65,398	▲ 0.0
4年度			62,452	▲ 4.5
5年度			60,041	▲ 3.9
5. 1~3	5,645	▲ 26.3	62,452	▲ 4.5
4~6	34,496	3.3	34,496	3.3
7~9	14,673	▲ 22.6	49,169	▲ 6.1
10~12	4,844	9.0	54,013	▲ 4.9
6. 1~3	6,028	6.8	60,041	▲ 3.9
5. 10	2,671	9.7	51,840	▲ 5.4
11	1,395	▲ 12.2	53,235	▲ 5.6
12	778	84.8	54,013	▲ 4.9
6. 1	204	64.5	54,217	▲ 4.8
2	313	▲ 62.0	54,530	▲ 5.6
3	5,511	17.3	60,041	▲ 3.9

公共工事前払金保証請負金額推移(前年度累計比)



<資料：北海道建設業信用保証㈱>

### 3. 住宅建設…前年同期を下回る

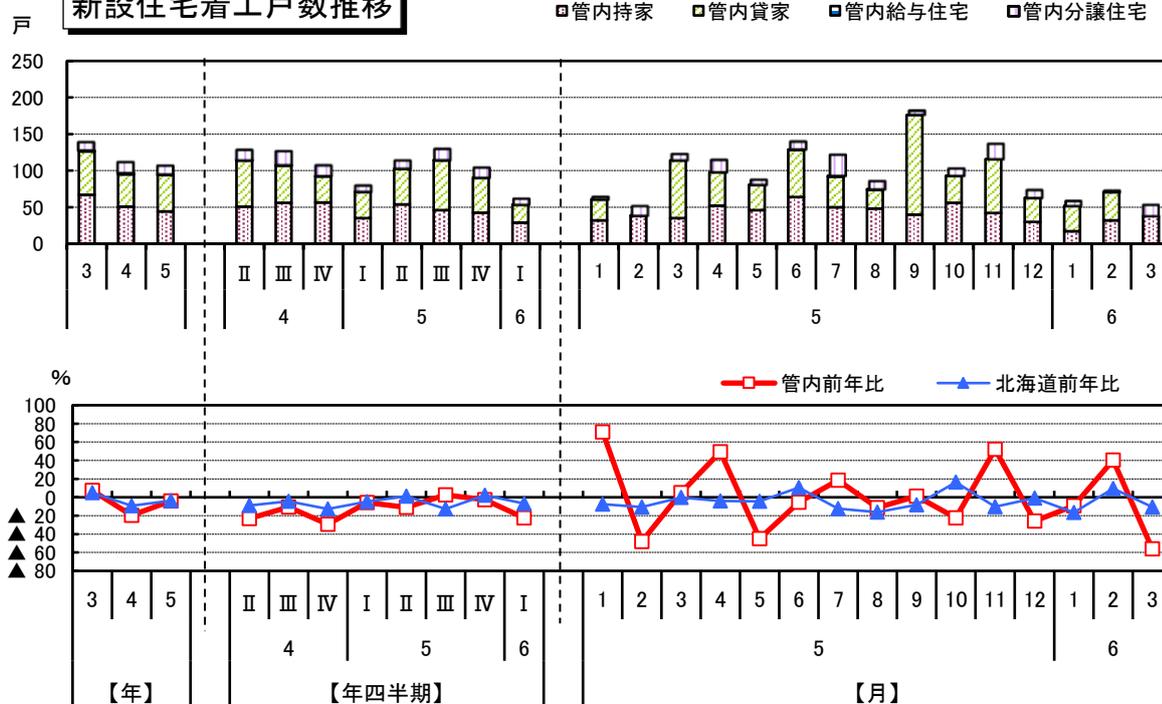
住宅建設を新設住宅着工戸数で見ると、持家、貸家とも前年を下回ったことから、全体でも前年同期を下回っている。

新設住宅着工戸数(帯広市+3町)

(単位:戸、%)

年月	合計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
3年	1,668	7.4	802	13.6	714	3.8	15	▲ 6.3	137	▲ 4.2
4年	1,343	▲ 19.5	608	▲ 24.2	532	▲ 25.5	27	80.0	176	28.5
5年	1,287	▲ 4.2	533	▲ 12.3	602	13.2	3	▲ 88.9	149	▲ 15.3
5. 1~3	240	▲ 5.9	105	▲ 11.0	109	34.6	-	全減	26	▲ 18.8
4~6	343	▲ 10.9	162	5.9	145	▲ 23.3	1	0.0	35	▲ 16.7
7~9	390	2.6	138	▲ 17.9	204	32.5	2	100.0	46	▲ 19.3
10~12	314	▲ 2.8	128	▲ 24.3	144	33.3	-	全減	42	▲ 6.7
6. 1~3	186	▲ 22.5	87	▲ 17.1	74	▲ 32.1	-	-	25	▲ 3.8
5. 10	103	▲ 22.6	56	▲ 9.7	37	▲ 14.0	-	全減	10	▲ 63.0
11	137	52.2	42	▲ 34.4	74	311.1	-	-	21	162.5
12	74	▲ 26.0	30	▲ 30.2	33	▲ 29.8	-	-	11	10.0
6. 1	59	▲ 9.2	17	▲ 46.9	35	20.7	-	-	7	75.0
2	73	40.4	32	▲ 15.8	39	3800.0	-	-	2	▲ 84.6
3	54	▲ 56.1	38	8.6	0	全減	-	-	16	77.8

新設住宅着工戸数推移



(注) 年、四半期の戸数は月平均。

<資料: 国土交通省、音更町、幕別町、芽室町>

#### 4. 個人消費…一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している

主要小売店売上高は、飲食料品は前年を上回っているものの、衣料品が前年を大幅に下回っていることから、全体では前年同期を下回っている。

乗用車販売（新車登録・届出台数）は、前年を下回っている。

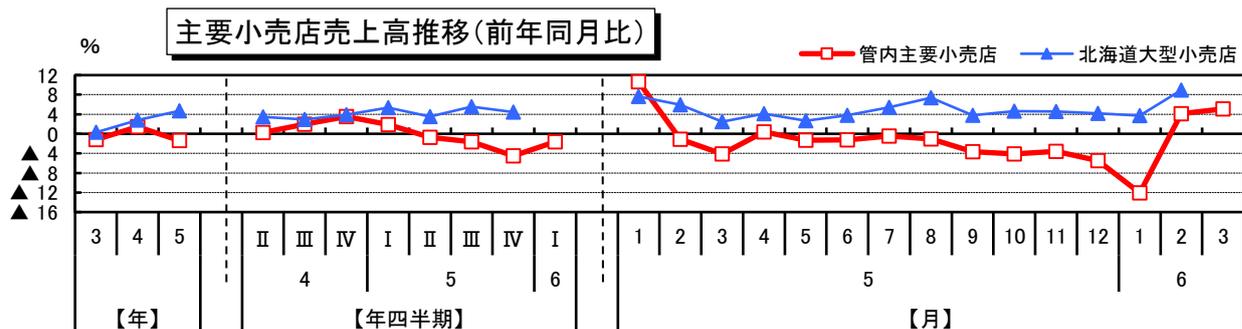
このように、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

#### 個人消費

(単位:台、%)

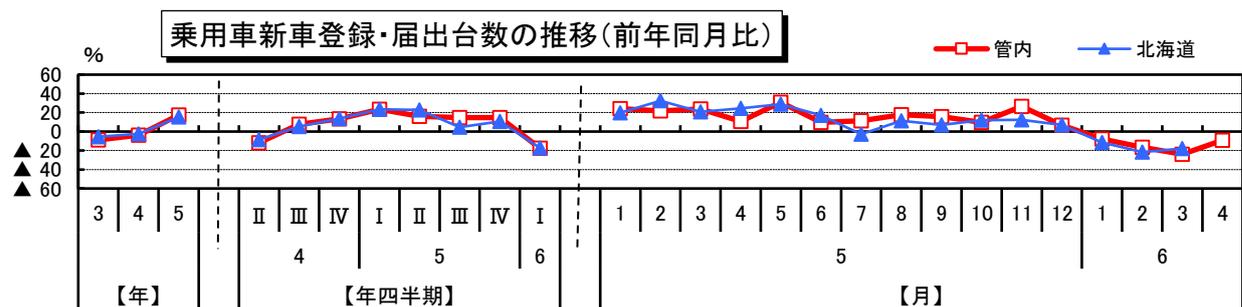
年月	主要小売店売上高			乗用車新車登録・届出台数								
	前年比			計		普通		小型		軽		
	合計	飲食料品	衣料品	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	
3年	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 0.7	8,893	▲ 8.8	3,263	0.4	2,427	▲ 18.9	3,203	▲ 8.7	
4年	1.5	1.8	4.5	8,548	▲ 3.9	3,116	▲ 4.5	2,315	▲ 4.6	3,117	▲ 2.7	
5年	▲ 1.4	1.9	▲ 18.9	10,039	17.4	4,277	37.3	2,446	5.7	3,316	6.4	
5. 1~3	1.9	2.7	3.3	2,957	23.4	1,348	56.2	666	1.4	943	7.5	
4~6	▲ 0.7	2.6	▲ 18.1	2,297	16.1	955	44.3	616	2.2	726	1.8	
7~9	▲ 1.7	2.2	▲ 25.5	2,456	14.8	977	14.3	637	25.1	842	8.5	
10~12	▲ 4.5	0.3	▲ 31.5	2,329	14.6	997	35.5	527	▲ 3.5	805	7.2	
6. 1~3	▲ 1.7	2.0	▲ 22.1	2,437	▲ 17.6	1,008	▲ 25.2	575	▲ 13.7	854	▲ 9.4	
5. 10	▲ 4.1	2.1	▲ 35.7	838	9.7	348	30.8	199	▲ 1.5	291	▲ 1.7	
11	▲ 3.6	▲ 0.5	▲ 25.4	887	26.4	382	61.2	206	6.2	299	10.3	
12	▲ 5.5	▲ 0.5	▲ 32.7	604	6.5	267	14.6	122	▲ 18.7	215	16.8	
6. 1	▲ 12.1	▲ 4.8	▲ 46.2	721	▲ 7.9	309	▲ 4.9	165	▲ 5.2	247	▲ 13.0	
2	4.1	4.6	9.7	699	▲ 16.5	279	▲ 26.6	171	▲ 12.3	249	▲ 5.0	
3	5.1	7.0	▲ 0.8	1,017	▲ 23.9	420	▲ 34.7	239	▲ 19.5	358	▲ 9.8	
4				660	▲ 9.2	281	▲ 10.8	158	▲ 16.4	221	▲ 0.9	

(注) 主要小売店売上高について、令和5年2月以降対象先が1社減、令和5年8月以降対象先が1社減となったため、以前の数値とは連続性がない。



(注) 管内は主要小売店。北海道は百貨店と大型スーパーの合計（全店ベース）で、直近月は速報値。

<資料：北海道経済産業局、管内主要小売店>



<資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会、帯広自動車販売店協会>

## 5. 雇用情勢…有効求人倍率は前年を下回る

雇用情勢（パートを含む常用）をみると、月間有効求職者数が前年を上回り、月間有効求人数が前年を下回ったことから、有効求人倍率は前年を下回っている。

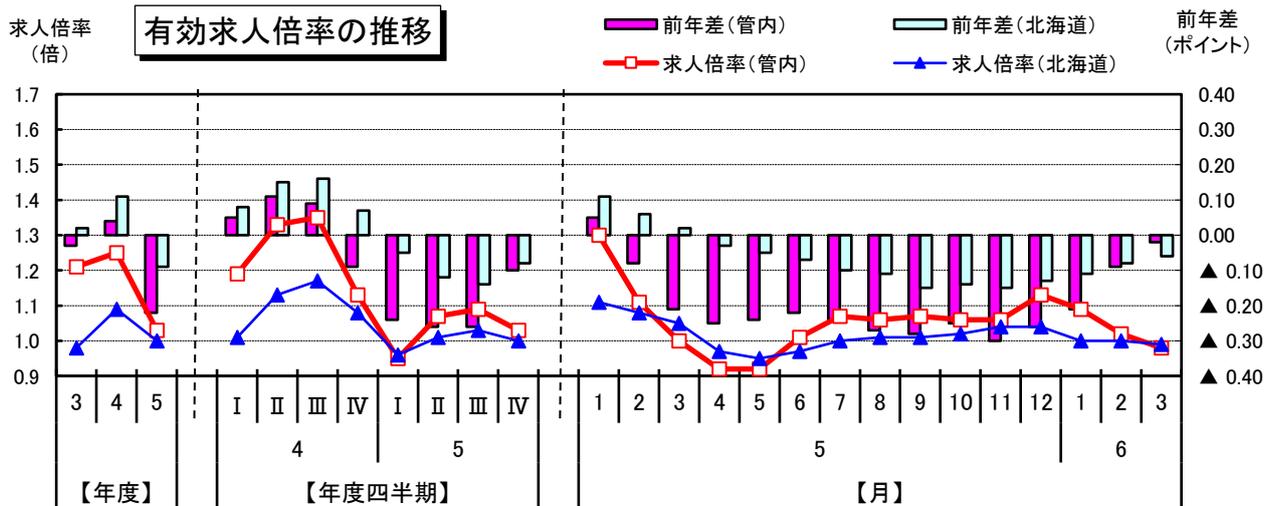
新規求人数は前年を下回っている。業種別にみると、建設業、製造業等で増加している一方で、運輸業・郵便業、卸売・小売業等で減少している。

職業紹介状況

(単位：人、%、倍、ポイント)

年 月	一般（パートを含む常用）														新規高卒者就職内定状況	
	新規求職申込件数		新規求人数			うちパート		月間有効求職者数		月間有効求人数		有効求人倍率		(内定率)	前年差	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年差				
3年度	11,462	4.1	24,998	3.5	7,072	▲ 2.8	58,207	7.2	70,422	4.8	1.21	▲ 0.03	100.0	0.3		
4年度	12,249	6.9	26,037	4.2	7,275	2.9	60,263	3.5	75,145	6.7	1.25	0.04	99.8	▲ 0.2		
5年度	12,193	▲ 0.5	22,441	▲ 13.8	6,506	▲ 10.6	62,134	3.1	64,034	▲ 14.8	1.03	▲ 0.22	99.0	▲ 0.8		
5. 1～3	3,509	10.0	5,936	▲ 11.1	1,798	▲ 6.4	14,930	0.8	16,860	▲ 6.5	1.13	▲ 0.09	99.8	▲ 0.2		
4～6	3,587	0.5	5,791	▲ 15.3	1,688	▲ 13.4	16,771	2.6	15,944	▲ 17.8	0.95	▲ 0.24	-	-		
7～9	2,665	1.3	5,566	▲ 18.2	1,654	▲ 10.2	15,330	3.3	16,383	▲ 17.2	1.07	▲ 0.26	45.0	▲ 0.4		
10～12	2,605	2.5	5,614	▲ 13.0	1,542	▲ 8.5	14,789	4.6	16,053	▲ 16.0	1.09	▲ 0.26	87.4	▲ 7.5		
6. 1～3	3,336	▲ 4.9	5,470	▲ 7.9	1,622	▲ 9.8	15,244	2.1	15,654	▲ 7.2	1.03	▲ 0.10	99.0	▲ 0.8		
5. 10	991	▲ 4.8	1,870	▲ 17.8	582	▲ 6.1	5,065	3.5	5,391	▲ 15.9	1.06	▲ 0.25	69.8	▲ 0.4		
11	874	11.2	1,695	▲ 20.0	449	▲ 13.8	4,982	4.7	5,280	▲ 18.4	1.06	▲ 0.30	80.2	▲ 2.9		
12	740	3.6	2,049	▲ 0.6	511	▲ 6.2	4,742	5.7	5,382	▲ 13.5	1.13	▲ 0.26	87.4	▲ 7.5		
6. 1	1,066	▲ 0.6	1,742	▲ 5.0	482	7.1	4,844	6.8	5,288	▲ 10.0	1.09	▲ 0.21	92.7	▲ 5.5		
2	1,113	▲ 4.6	1,825	▲ 18.2	527	▲ 27.5	5,077	1.2	5,171	▲ 7.5	1.02	▲ 0.09	95.9	▲ 3.3		
3	1,157	▲ 8.9	1,903	1.7	613	▲ 1.3	5,323	▲ 1.0	5,195	▲ 3.7	0.98	▲ 0.02	99.0	▲ 0.8		

(注) 新規高卒者就職内定状況の年度欄は各3月末の計数、四半期欄は各期末の計数。



<資料：帯広公共職業安定所>

## 6. 観光・・・緩やかに持ち直している

空港降客数、十勝川温泉観光客入込み数、市内ホテル宿泊客数は前年を上回っており、緩やかに持ち直している。

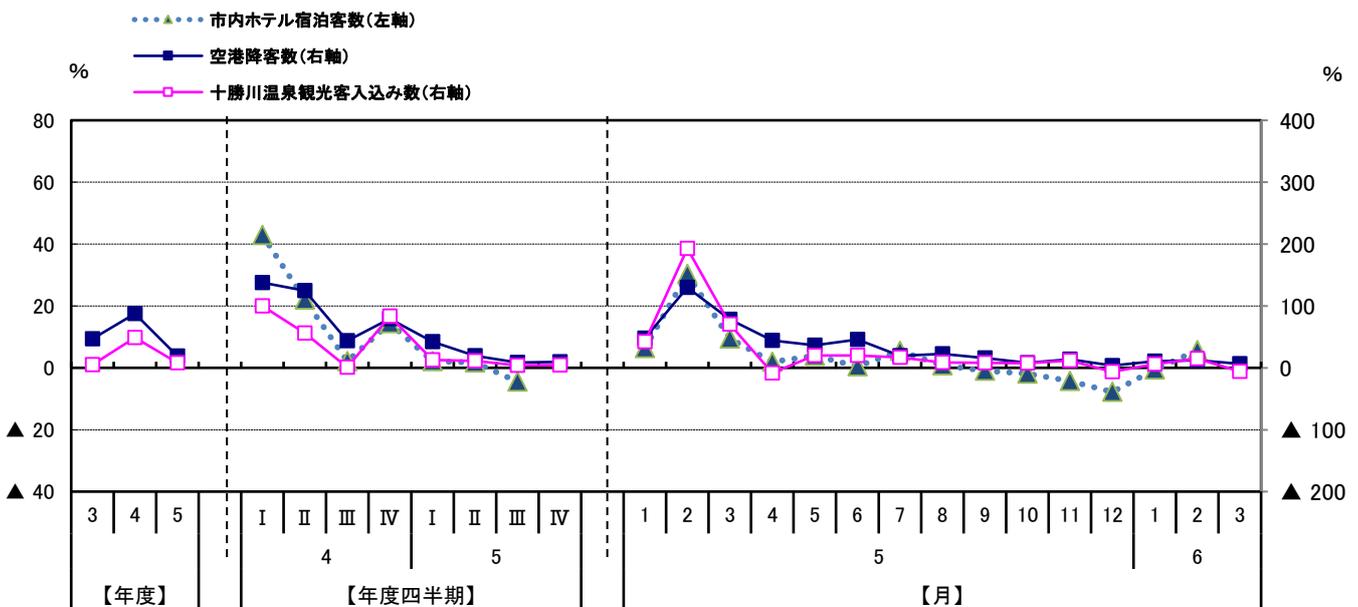
### 観光

(単位：人、%)

年月	帯広空港利用状況(降客数)						十勝川温泉観光客入込み数(宿泊客等)				市内ホテル 宿泊客数 前年比
	合計		定期便		不定期便		合計		宿泊客		
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
3年度	147,373	46.8	146,836	46.2	537	全増	168,717	5.0	152,545	1.9	▲
4年度	276,139	87.4	274,534	87.0	1,605	198.9	250,860	48.7	233,640	53.2	
5年度	327,926	18.8	327,027	19.1	899	▲ 44.0	270,900	8.0	252,177	7.9	
5. 1~3	68,188	79.2	68,188	79.2	-	-	65,196	83.6	61,573	93.1	14.4
4~6	78,304	42.2	78,304	43.3	-	全減	60,445	12.7	56,693	13.7	2.1
7~9	96,352	19.6	95,578	19.5	774	41.5	77,507	11.1	72,208	11.7	1.7
10~12	78,451	8.4	78,451	9.4	-	全減	64,846	4.1	60,526	5.1	▲ 4.5
6. 1~3	74,819	9.7	74,694	9.5	125	全増	68,102	4.5	62,750	1.9	▲
5. 10	28,850	8.0	28,850	10.6	-	全減	24,055	7.6	22,187	14.4	▲ 1.9
11	25,225	14.0	25,225	14.0	-	-	20,972	11.6	19,998	11.6	▲ 4.3
12	24,376	3.7	24,376	3.7	-	-	19,819	▲ 6.1	18,341	▲ 9.5	▲ 7.8
6. 1	24,123	10.9	24,123	10.9	-	-	21,338	5.9	19,566	4.5	▲ 0.5
2	24,390	12.3	24,265	11.7	125	全増	23,769	15.0	22,041	12.6	5.6
3	26,306	6.4	26,306	6.4	-	-	22,995	▲ 5.7	21,143	▲ 9.2	▲

(注) 十勝川温泉観光客入込み数について令和3年4月以降対象先が1社減となったため、以前の数値とは連続性がない。

### 空港降客数及び十勝川温泉観光客入込み数,市内ホテル宿泊客数



<資料：北海道エアポート(株) 帯広空港事業所、音更町（主要旅館5社）、日本銀行釧路支店帯広事務所>

## 7. 金融…貸出金残高は前年並み

金融機関の貸出金残高(銀行・信用金庫・信用組合ベース)をみると、個人向けは前年を上回っているものの、事業者向けは前年並みとなっていることから、全体では前年並みとなっている。

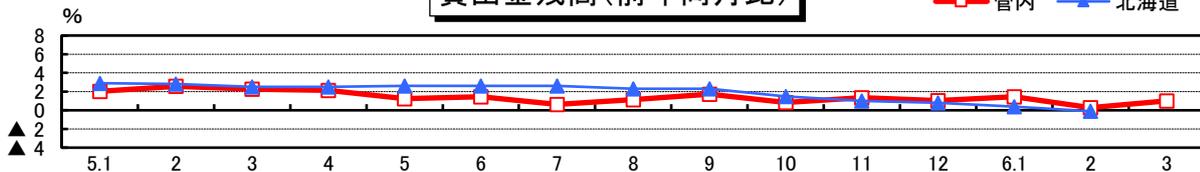
金融

(単位:百万円、%)

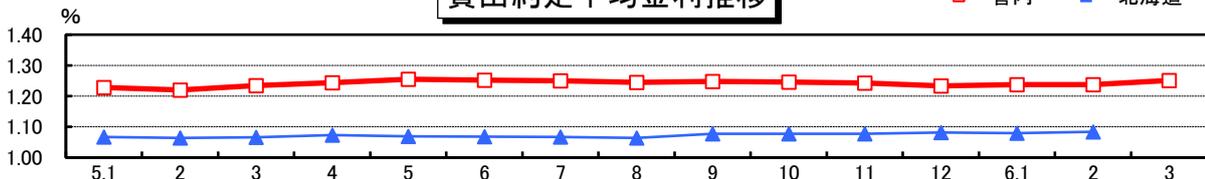
年月	貸出金残高		事業者向け貸出						個人		地方公共団体	
	前年比		前年比		設備	前年比	運転	前年比	前年比		前年比	
3. 3 末	834,199	7.3	492,195	12.2	190,166	1.5	302,029	20.2	263,610	2.6	78,389	▲ 4.2
4. 3 末	842,934	1.0	493,752	0.3	193,647	1.8	300,105	▲ 0.6	273,006	3.6	76,174	▲ 2.8
5. 3 末	862,005	2.3	507,262	2.7	202,055	4.3	305,207	1.7	279,427	2.4	75,312	▲ 1.1
5. 10 末	860,641	0.8	506,409	0.4	207,353	5.0	299,056	▲ 2.6	283,998	2.7	70,230	▲ 2.9
11 末	867,202	1.4	512,359	1.2	208,357	5.1	304,002	▲ 1.3	284,733	2.4	70,105	▲ 1.7
12 末	883,155	1.0	527,599	0.6	209,630	5.2	317,969	▲ 2.2	285,019	2.3	70,531	▲ 1.0
6. 1 末	874,124	1.5	518,165	1.3	209,100	5.6	309,065	▲ 1.4	285,104	2.5	70,851	▲ 1.6
2 末	872,240	0.3	513,526	▲ 0.9	209,309	4.8	304,217	▲ 4.5	285,549	2.7	73,159	▲ 0.1
3 末	870,617	1.0	507,667	0.1	211,257	4.6	296,410	▲ 2.9	287,062	2.7	75,884	0.8

年月	預金残高		要求払		定期性		貸出約定平均金利
	前年比		前年比		前年比		
3. 3 末	1,594,351	10.2	1,067,343	16.5	523,359	▲ 0.5	1.259
4. 3 末	1,646,515	3.3	1,127,696	5.7	515,651	▲ 1.5	1.244
5. 3 末	1,670,677	1.5	1,169,121	3.7	498,798	▲ 3.3	1.234
5. 10 末	1,717,324	0.6	1,213,306	2.3	501,503	▲ 3.2	1.246
11 末	1,707,966	▲ 0.2	1,202,361	0.9	502,872	▲ 2.7	1.243
12 末	1,732,461	0.4	1,233,547	2.0	496,390	▲ 3.3	1.233
6. 1 末	1,709,853	▲ 0.1	1,213,561	1.5	494,036	▲ 3.7	1.237
2 末	1,705,326	0.1	1,213,125	1.8	490,119	▲ 3.7	1.237
3 末	1,707,849	2.2	1,229,927	5.2	475,856	▲ 4.6	1.251

貸出金残高(前年同月比)



貸出約定平均金利推移



(注1) グラフは、管内・北海道とも銀行・信用金庫・信用組合ベース。

(注2) 「貸出約定平均金利」の基礎データには、制度融資に関する金利データが含まれており、地方公共団体から受け取る利子補給分について、算定可能な限り、これを含めている。

<資料:北海道財務局、帯広財務事務所>

## 8. 企業倒産・・・前年同期を下回る

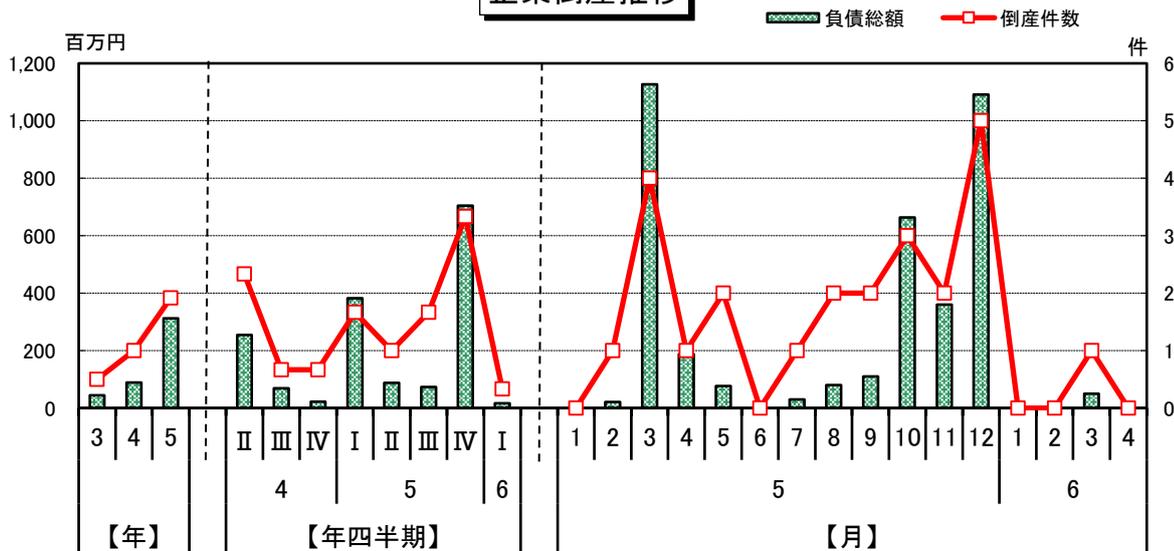
企業倒産は、件数、負債総額ともに前年同期を下回っている。

企業倒産(負債総額1千万円以上)

(単位:件、百万円、%)

年月	件数	前年比	建設業	製造業	卸・小売業	運輸・通信業	サービス業	その他	負債総額	
									前年比	
3年	6	▲ 50.0	-	3	-	-	2	1	539	▲ 70.4
4年	12	100.0	3	1	-	-	4	2	1,069	98.3
5年	23	91.7	2	4	6	-	9	2	3,748	250.6
5. 1~3	5	400.0	-	-	2	-	3	-	1,148	3,726.7
4~6	3	▲ 57.1	-	1	-	-	2	-	265	▲ 65.4
7~9	5	150.0	-	2	1	-	2	-	220	5.8
10~12	10	400.0	2	1	3	-	2	2	2,115	3,104.5
6. 1~3	1	▲ 80.0	-	-	-	-	1	-	50	▲ 95.6
5. 10	3	全増	-	-	1	-	1	1	664	全増
11	2	全増	1	-	-	-	1	-	360	全増
12	5	150.0	1	1	2	-	-	1	1,091	1,553.0
6. 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	全減	-	-	-	-	-	-	-	全減
3	1	▲ 75.0	-	-	-	-	1	-	50	▲ 95.6
4	-	全減	-	-	-	-	-	-	-	全減

企業倒産推移



(注) 年、四半期は月平均。

<資料: (株)東京商工リサーチ>

### 【個人消費】

- ・値上げが浸透し節約志向は少しずつ薄れてきており、消費マインドもやや回復していると感じる。(食料品スーパー)
- ・時短需要で冷凍食品やインスタント食品のほか、弁当などの惣菜も好調である。(食料品スーパー)
- ・イベントのときはお金を使い、日常的に使うものは消費を抑えるという傾向も見られる。(食料品スーパー)
- ・外出需要の高まりから婦人・紳士ともにブランド衣料が好調であるほか、マスクをとる機会が増えたことで化粧品も好調。旅行需要の高まりからキャリーバッグも伸長した。(大型小売店)
- ・3月の降雪や気温低下により、春物の販売が不振だった。(大型小売店)
- ・前年の猛暑の影響で夏に備えたエアコンの設置需要が継続しており、工事待ちで夏に間に合わないことを懸念して早めに購入する動きが見られる。(家電量販店)
- ・大型ストーブなどの暖房器具は、暖冬の影響や寒冷地仕様エアコンへのシフトの影響により伸びなかった。(家電量販店)
- ・一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、新車登録・届出台数は前年を下回ったものの、足元では新型車効果もあり、受注台数は落ち込んでいない。全体的に車両価格が上昇している中でも需要はある。(一般社団法人)

### 【観光】

- ・春節の影響に加え、彩凜華や雪まつりなどのイベント効果で外国人観光客が増加した。(宿泊業)
- ・前年と違い旅行支援などの割引がなかったことから、国内客が減少している。(観光協会)
- ・新型コロナウイルスの5類移行により、人の動きが活発になっている。(その他サービス業)

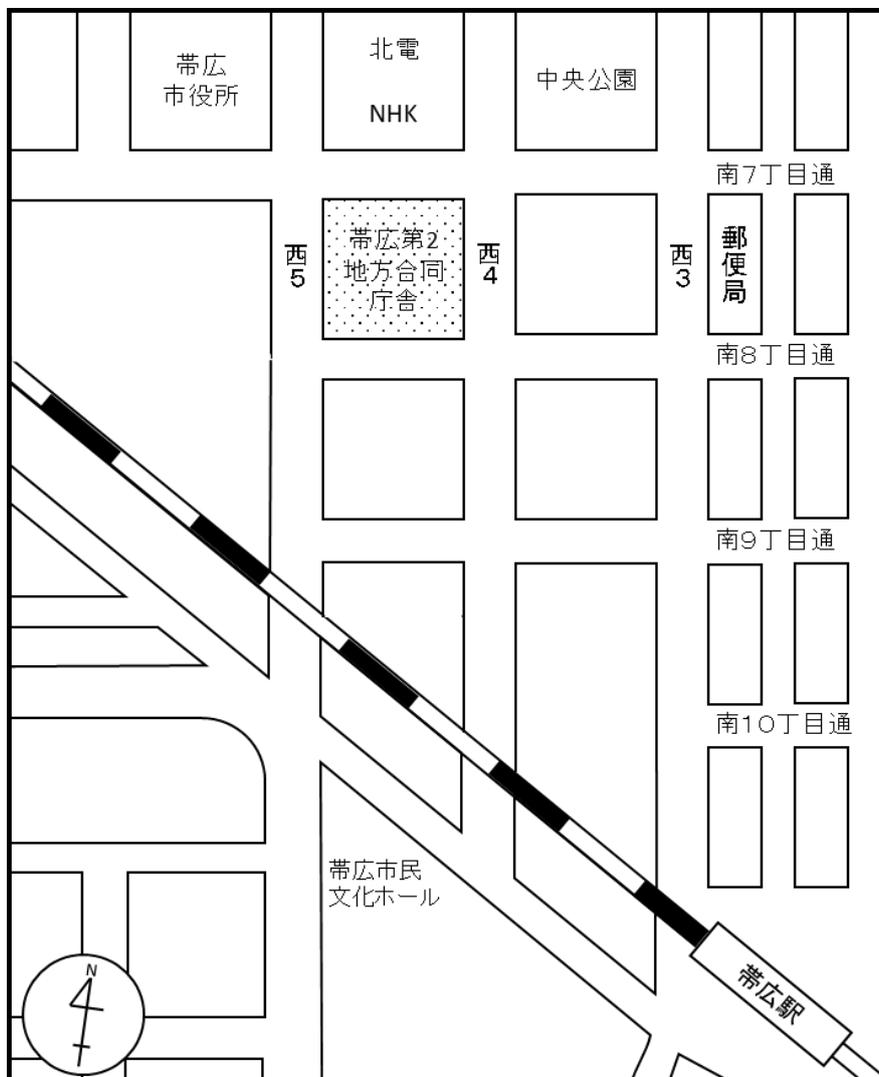
### 【住宅建設】

- ・宅地の不足が続き、土地の価格が依然として高いほか、資材価格が高騰しており、住宅の建築費は未だに高い。住宅ローン金利もやや上昇の機運があり、これらの要因が重なって消費者のマインドに減退感がある。(建設業)
- ・土地を含む住宅価格の高騰が続く中、中古住宅のリノベーションの需要が増えている。(建設業)

### 【雇用】

- ・業種によっては、社内で適正な人員配置が行われているかの検討を行い、既存の従業員をケアすることで、人手不足を補う方針のところもある。(公的機関)
- ・スポット的な業務では、スキマバイトアプリを利用した募集が多い。隙間時間で働くことができるので、応募しやすい。(宿泊業)
- ・人手不足の状況は変わらず、特に技術職員や技術者の不足が顕著となっている。(建設業)

本誌に関するご意見、ご要望はお気軽に  
下記までお寄せ下さい。



帯広財務事務所 財務課

〒080-0015

帯広市西5条南8丁目

帯広第2地方合同庁舎

TEL 0155(25)6381

ご意見・ご要望はこちらへお寄せ下さい。

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/mailform/hokkaido.php>